

事業所名: グループホーム・栄田

作成日: 平成 26 年 12 月 3 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	今後も行動背景を分析し、ご本人の思いや希望を大切にしたいことを検討する。ご本人の生活歴、行動の原因、できることなどアセスメント用紙を工夫し、記録に残して支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 行動障害の背景を分析し、入居者1人ひとりの思いや希望を大切にしたいことを支援する。 生活歴や行動の原因、できることも踏まえたアセスメントができ、支援につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在使用しているアセスメント用紙に白紙を追加して、特記事項に記載している本人の行動からその背景も考えて記録を残していく。 記録した内容を把握して介護計画を作成し、実践する。 本人やご家族と話をし生活歴をより詳しく記録に残す。 	3 ヶ月
2	33	重度化、終末期について、ご本人やご家族の意向を今度も丁寧に把握していく。	<ul style="list-style-type: none"> 重度化、終末期に向けた方針を職員間で共有する。 早い段階で重度化、終末期の意向を、ご本人やご家族に確認し、その後も意向を把握して必要な支援をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 入居者本人、ご家族に重度化や終末期についての意向を確認し、記録に残していく。 重度化、終末期それぞれの同意書の検討と作成をする。 重度化や終末期に関して、研修等で知識を深める。 	6 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月